

水洗式塗装ブース処理剤

株式会社中外ケミテック

〒555-0001 大阪市西淀川区佃4丁目3番26号

TEL 06-6478-8860 FAX 06-6478-8870

URL : <http://www.chugai-chemitech.jp>

E-mail : info-t@chugai-chemitech.jp

水洗式ブース処理剤の使用目的

- 水洗式塗装ブースの用水に添加する事により
用水中の塗料ミストを分離回収し、ブース及び
用水を清浄に保つ。

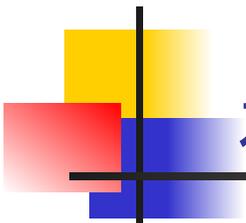


未処理ブース用水

→ 処理剤を添加、攪拌、静置 →



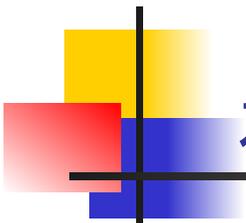
処理後のブース用水



水洗式ブースに起こる主なトラブル例

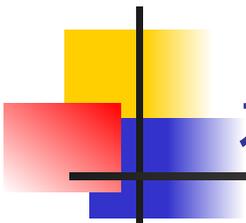
1. 塗料ミストが設備に付着しブースとしての能力低下を引起こす。
エアーの吸い込み口、ミストセパレーター、用水の循環配管等の閉塞。
2. 塗料ミストが槽の底部に堆積及び設備全体に付着し、固化又は粘着状態になる。
ブースの清掃作業が困難になる。(UV・ハイソリッド系塗料に多い)
3. ブースの形状及び塗料の種類によっては悪臭を発生する。(特に夏季の休日明け)
4. 用水が泡立つ。(特に水性塗料・プライマーなど)
5. 設備が腐食する。(鋼製)

上記トラブルを全て解決出来るブース処理剤がなく、ブース処理剤を使用しても満足出来ないため、お客様の半分以上はブース処理剤の使用を止めているのが現状です。



水洗式ブース処理剤を使用するメリット

- ブース循環水に分散された塗料ミストを分離してフロック化させる事で塗料を回収できる形態にします。
- 生成したフロックを除去することによりブース用水は常に透明でブース清掃時期、更新時期が延びます。
- 塗料がブース内壁面等に固化して付着したり、配管等を閉塞させる事を防ぎます。
- 塗料ミストの大気中へ飛散を防止します。



水洗式ブース処理剤の使用方法

投入時	<ul style="list-style-type: none">・ブースの稼動中に投入して下さい。・投入後最低30分間はブースの稼動を止めないで下さい。
投入箇所	<ul style="list-style-type: none">・ブース処理剤が十分に分散する箇所（液流がある）に少しずつ投入して下さい。・1箇所にまとめて投入しないで下さい。（溶け残りがダマになります）
投入量	<ul style="list-style-type: none">・オーバースプレー量に対して1～2%投入して下さい。
フロックの処理	<ul style="list-style-type: none">・生成したフロックはできれば毎日除去して下さい。・薬剤投入後1時間以上経ってからフロックを除去して下さい。・細かいフロックは除去する必要はありません。・除去したフロックは塗料中に有害物質がなければ一般産業廃棄物として処理可能です。
泡対策	<ul style="list-style-type: none">・発泡がひどい場合は「サプロテック L-7」を併用して下さい。

現場写真①(実施例)

用水の吸込み口に
薬剤を投入します。



現場写真②(実施例)

ブース横の浮上層にフ
ロックが浮き上がります。

このフロックを網などで
回収除去して下さい。

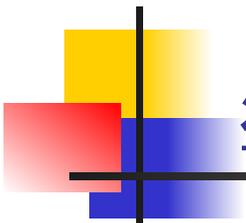


現場写真③(実施例)

浮上層のフロックを水ごと土のう袋に入れ、水切り回収している例。

浮上層





塗料別のブース処理剤の選定

塗料の種類		製品
溶剤系	アクリル メラミン エポキシ フタル酸系 その他	D-750
	ウレタン	D-750 D-80FA
	UV ハイソリッド	UV-2SN D-750
	プライマー	D-750 D-80FA
水系		DW-PC (検討中)

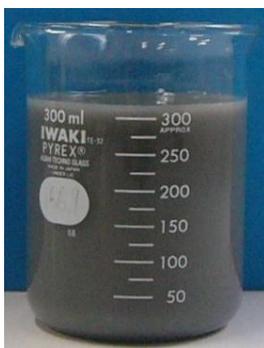
実施例



アクリル



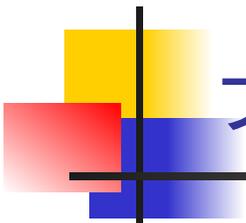
メラミン



エポキシ



ウレタン



ブース処理剤のコスト比較

他社品から弊社製ブース処理剤に変更いただいた顧客様の年間コスト比較を以下に記載します。

顧客様の業種	鋼製家具メーカー
ブースの形状	湿式ノーポンプタイプ
循環水量	約3t
塗装ブースの数	計6箇所

①ブース処理剤の使用量

他社製ブース処理剤 2,469Kg/年(液体タイプ 2液)

サプロテックDシリーズ 864Kg/年(粉末タイプ 1剤)

薬剤使用量が1,605Kg/年減ったことで、他社品と比較して約1/3の使用量となりました。

②塗料カス量(産業廃棄物)の比較

他社製ブース処理剤 52,296Kg/年

サプロテックDシリーズ 37,330Kg/年

塗料カス(産業廃棄物)が14,966Kg/年(約30%)削減されました。

* 大きく削減出来た理由としては、サプロテックDシリーズの塗料フロックが他社製品と比較して分離回収性に優れている事と回収したフロック(塗料カス)の含水率が少ないことが考えられます。